



只見小学校6年生 議会傍聴  
P7に関連記事

分かりやすく伝わる誌面  
になっていますか？



只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
←議会中継へ

12月会議終わる .....	2
議会報告会開く .....	4
一般質問・9名が町政をただす .....	9

12月  
会議

あらまし

12月会議が10日から13日まで開催されました。令和元年度一般会計補正予算の他8つの特別会計補正予算などを審議。条例では来年度より始まる会計年度任用職員制度を審議しました。一部反対討論も出されましたが提案されたすべての議案を可決しました。一般会計補正予算には鳥獣被害対策予算などが含まれます。

## 追加補正・鳥獣捕獲補助拡大

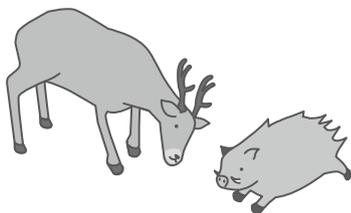
# イノシシ集中駆除

### 鳥獣被害対策、町予算で補強

が期待される。

町内の鳥獣被害は増加の一途を辿っているが、県の鳥獣被害対策予算が上限に達するため事業を継続できない可能性がある。そのため、町の緊急措置としてカラス等捕獲駆除特別対策事業補助金30万円を可決した。これによりサル・ニホンジカ・イノシシ等の駆除促進

イノシシの被害にあった坂田地区の水田



#### 令和元年度一般会計補正予算（第6・7号）主な内容

(歳入)	金額
国庫支出金	721万円
基金繰入金	△1億2400万円
◎基金繰入金の減額…放課後児童対策などの財源を過疎対策事業債への振り替えにより減額	
(歳出)	
只見振興センター集会所残響対策調査委託料	63万円
河井継之助記念館駐車場整備工事	△140万円
只見小学校体育館改修工事	△2648万円
林道測量設計委託	46万円
カラス等捕獲駆除特別対策事業補助金	30万円
◎只見小体育館改修工事…次年度の夏休み施工に変更のため減額	
◎カラス等捕獲駆除特別対策事業補助金 …県に準じてニホンジカ、イノシシの単価を23000円に増額	



峠の映画化で来館者増が見込まれる河井継之助記念館

# 臨時職員の給与改善

## 会計年度任用職員制度始まる

臨時・非常勤職員の働き方改革として来年度より会計年度任用職員制度がスタートする。全国の自治体で勤務実態に合わない臨時・非常勤職員の任用が常態化している背景があり、これを改善しようとするもの。また会計年度任用職員について期末手当の支給が可能となるよう、給付についての規定を整備する。



### こんな質問がありました

#### 情報システム管理費

**問** 予算価格が市場価格よりも高い。

古いパソコンから情報が抜き取られる報道があった。処分方法は。

**答** 見積時点と入札結果の差。精査し2台減。処分後の証明書を取って適正に処分している。

**只見振興センター残響対策調査委託料** 63万円

**問** 調査内容は。

**答** スピーカー残響音により聞こえにくい。改善するための調査。

**河井継之助記念館駐車場整備工事** △140万円

**問** 駐車場の案内看板が小さいので

は。

**答** いまある看板の内容を書き換えて設置した。新年度、再調査してできるところから直していきたい。

**子育て支援少子化対策推進基金繰入金** △1000万円

**問** 子育て支援少子化対策推進基金は東邦銀行株を売却して充てられている。子育て関係でどのように有効に使われているのか。

**答** 当初予算編成の中では放課後児童対策に充当されている。将来に残しておきたいため振り替えた。

**只見小学校体育館改修工事** △2600万円

**問** 来年度は必ず夏休み期間中に終

わるようにお願いしたい。

**答** 県協議に時間を要してしまった。次年度夏休み中の完了を目指す。

**介護老人保健施設 補正予算**

**問** 町内介護施設等の待機者人数は。

**答** 全体で40名強、こぶし苑は約20名ほど。

**集落排水事業 補正予算**

**問** 一人暮らし世帯にグリストラップ清掃の補助を。

**答** 実態調査し検討する。

**あさひヶ丘送迎バスヒーター修繕費** 75万円

**問** 修繕中の対応は。

**答** 利用者が寒い思いをしない様対応したい。

### 討論

#### 議会議員期末手当に関する条例の改正

**反対** 山岸国夫議員 町民に還元すべきとの立場から反対する。  
**賛成** 酒井右一議員 若い人が議員になれるよう報酬は見直すべきとの考えから賛成する。

# 声を町政に



只見会場

朝日地区  
20名

⑤会津中央病院から派遣の看護師確保もしっかりと継続させてほしい。



只見地区  
27名

## 議会 報告会

①八十里越の開通を見据え、道の駅の整備はできるのか。



⑥広報無線はせめて2回は放送してほしい。また分かりやすい内容に。



①役場本庁舎建設計画をしっかりと示してほしい。



### あらまし

②役場庁舎は今後どうなるのか。



⑦議会、町長はもっと町民の声を聞くべきだ。積極的な対話を。



②只見線再復旧を控え、只見駅周辺の開発計画は。



12月1日に只見、朝日、明和それぞれの振興センターにおいて、議会報告会を開催しました。3地区合計で過去最高の60名が参加され、議会や町に対する様々な意見を伺うことが出来ました。

「議会と町はもっと町民の声を聞いてほしい」という意見は3地区共通の意見でした。他にも子育てに関する意見や議員定数、報酬に関する意見などが寄せられ、貴重な議会報告会となりました。各地区では主にこんな意見が寄せられました。

③空き家対策が進んでいない。町での買い上げは可能か。



⑧只見小の入学生が今年3人だ。重く受け止め、英知を結集して対策を。



③JR只見線の待ち時間が長い、開通前に改善を。



④熊・イノシシ等による被害が増えている。対策は怎么样了のか。



⑨今の議員報酬では生活できない。意欲ある人は誰でも立候補できるように議員報酬を考えるべきだ。定数や日当制なども含め、検討してほしい。

④診療所の看護師不足対策は町で人材育成から担ってはどうか。



これらの意見を担当委員会に割り当て、町当局と協議・検討していく

# 町民、議会、町が 一体となって町政を!

# 住民の生の



明和会場



朝日会場

## 子育て世代の 新たな声

⑤イノシシ等の農作物被害が増えている。対策を。



## 明和地区 13名

⑥町の若者定住政策、子育て支援政策について、PR不足ではないか。



①議会報告会に子供を連れてでも参加できる仕組みを考えてほしい。



⑥避難所の公民館等、2階にトイレがなくお年寄りが大変不便だ。



①八十里越の開通、JR只見線の開通を見据えた町の対策は。



⑦トマト、米への支援が充実している。もっと町外にPRすべきだ。



②子供の遊び場、特に冬に屋内で遊ばせる場所がない。対策を。



⑦職員の萎縮が見られるのではないかと。議員各位は職員を育てる意識で接してほしい。

②性別・年齢・職業によって、抱える問題が違う。幅広い意見を聞くためにも議員定数を増やしてほしい。

⑧花卉への支援もさらに充実してほしい。



④保育所で給食がない日の弁当持参も考えてほしい。(南会津町を参考に)



⑧道の駅計画は今後どのように進められるのか。



③議会への諦め感もある。政治と住民の信頼関係の構築が必要、一緒に地域課題を考えてほしい。

⑨看護師だけでなく、介護士なども正職員として採用すべきでは。



⑤障害児対応のできる保健師を確保してほしい。



⑨議会報告会の日程を年間計画で周知を。



④12月末で閉店予定の商店がある。住民の利便性を考慮し、対応策を考えてほしい。



⑩議員の定数を減らすことは民意の反映を考慮すると、反対だ。



# 議会改革

## 議員定数現行12名維持

### 町民から定数増の声も

#### 議員定数・法律規制が撤廃

議員定数は、人口規模でその人数が定められていたが、平成12年の分権改革以降、法の定める上限の範囲内で市町村が条例で定数を定める事が出来るよう

になった。

その後も国は、地方分権改革に沿って、上限すら法で決めるべきではないとし、完全に法制度を撤廃した。議員定数の考え方は、

#### 議員定数

人口規模で定数が法律で定められていた。

H12・法改正で条例の上限定数制となる。

H23・完全に自治体の条例定数制となる。

#### 委員会数と定数

議会は、議論を深めるため、担当分野を分け調査する委員会主義をとっている。委員会では、議員間の討議で1つの結論を出すのが、その討議できる最低の人数が6人から7人と言われ、その数に委員会数を乗じた数が議員定数という考え方が示されている。

#### 今後の定数

これらを踏まえ、当議会では、定数問題の研究を重ね、議会報告会でも住民意見を徴してきた。人口減少が進む中、集落課題は多様化しており、住民の代弁者となる議員は増やすべきだとする声もある。また、いろんな層

の人が参加できる議会にするには、現在の報酬の検討も必要だとする声も頂いている。

最終的な協議で今後当面の只見町議会の議員定数は、最低議会として機能できる現行の12名を維持することが全員協議会で確認された。



議会傍聴にお越しく下さい。次の定例会議は3月です。

お問い合わせは、議会事務局まで 82-5300

## 議長動静



まるごと南会津観光PRフェアオープニングセレモニー

### 10月18日 幸せ金婚夫婦表彰式

今年めでたく金婚式を迎えられた23組の方々に、季の郷湯ら里において表彰が行なわれた。

### 10月29日 森林環境税及び森林環境譲与税創設感謝の集い

長年に亘り森林環境税創設のため、努力して頂いた国及び国会議員等に対し、感謝の集いが開催された。

### 11月16日 まるごと南会津観光PRフェア

南会津地方の物産販売や観光誘客を図る目的で、ふるさと只見大使などの協力を頂き、東京都上野公園で開催された。

### 11月23日 会津若松市制施行120周年記念式典

戊申後、政府から朝敵とされた会津地方にあって、福島県下で最初に市制を導入し、会津の中心として発展してきた歴史が披露された。

### 12月4日 南会津新消防庁舎開所式

新消防庁舎は、3階建ての庁舎と救急車両庫棟からなり、延べ面積は2,985㎡で、24時間年中稼働する防災拠点として開所した。消防機能の充実や事務効率の向上を目指した施設となっている。



12月会議の一般質問に只見小学校6年生8名が議会傍聴に来てくれました。JR只見線の全線再開や国道289号八十里越の開通が目前に迫り、今町民にとって一番の関心になっている道の駅整備について、議員と町当局のやり取りを真剣に聞いていました。

## 陳情

只見特産(株)の株式を町で過半数取得願いたい。

陳情名 只見特産(株) 株式譲渡に関する陳情書  
陳情者 JA会津よつば農業協同組合

### 審査経過

令和元年10月経済文教常任委員会に付託、審査結果は採択。理由は、元々当会社は、昭和48年只見町と当時の只見町農協等が出資し雇用と産業振興の拠点として整備したものである。現在町が進めている道の駅の商品づくりや今後の町の産業振興への取り組みに必要なため、委員会は本陳情を採択すべきとした。なお、12月会議で委員長報告が可決された。



出荷作業に追われる只見特産従業員の皆さん

### 自衛隊の誘致に係る4回目の陳情

会津地方への自衛隊駐屯地を誘致しようとする今回の陳情は、過去2回不採択・3回目は審議未了とした経過がある。過去の経過も踏まえ全員協議会で協議。

只見小学校  
6年生  
議会傍聴

表紙の  
写真

## 経済文教常任委員会



委員会では台風19号の被害も継続調査している。  
県知事が只見町の国道被害箇所を視察

### 交流人口の受け皿づくり急ぐ

- ・「道の駅」基本計画の早期完成を
- ・「湯ら里」宿泊機能の見直しを

道の駅計画は、今後の推進スケジュールについて、議会報告会でも様々な意見が寄せられた。現在町では、基本構想後の基本計画づくりに着手しているが、当初計画より遅れており、年度内完成は難しい状況にある。完成時期はまだ示されないが、

今後基本計画案が示されれば、立地や運営の在り方、収支の見直しなどが議論される。早期の完成を求めている。湯ら里の宿泊機能の見直しについては、今後の交通量の増加を見込み協議している。

# 委員会活動

## 総務厚生常任委員会



検閲式に臨む婦人消防隊

- ・ 特定検診のため送迎車の確保を
- ・ 防災訓練、来年もしっかりと
- ・ ふるさと納税

人口減少の影響で特定検診の会場を減らすよう求められている。会場が遠くなれば受診率の低下が心配されるため、送迎車の確保を要請した。防災訓練は、事前準備や打ち合わせが足りず、課題や反省も多かった。町内の400

世帯の単身高齢者のためにも来年も実施を求めた。ふるさと納税は80万円程度で推移している。湯川村などは、米を活かして億単位のお金を集め、マスコミにぎわしている。なぜ、只見は出来ないのか問題視している。

## 広報広聴常任委員会



1/23 喜多方市議会を訪問研修

### 段階的タブレット導入

行政のコストと職員の労務の軽減を目指すタブレット端末導入に向けた調査を行ってきたが、今後3か年程度の期間で執行部と段階的導入を目指していく最終取りまとめを行なった。既に導入・運用されている喜多方市議会に出向き、直接現場での指導を受けた。今後推進体制などの検討が行なわれる。



## 一般質問

- **大塚純一郎** ..... 10  
若者定住環境の充実を
- **目黒 仁也** ..... 11  
「水の郷」で水産業の振興を
- **佐藤 孝義** ..... 12  
令和2年度の新規事業は
- **藤田 力** ..... 13  
町職員採用に只見高校卒を
- **目黒 道人** ..... 14  
ダム土砂、海洋学的な解決を
- **山岸 国夫** ..... 15  
豪雨時の水害対策の実施を
- **酒井 右一** ..... 16  
診療所は機能不全に陥るがいか
- **鈴木 好行** ..... 17  
第七次振興計画の前期評価検証は
- **鈴木 征** ..... 18  
道の駅基本計画の完成はいつ

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

# 町政を問う

町を想い9名が

# 若者定住環境の充実を

**答** 更なる充実を図る



おおつかじゅんいちろう  
**大塚純一郎議員**

**問**

人口減少に歯止めをかけるには、

若者定住政策、移住定住政策を効果的に実行することだ。「只見町に住んでみたい、住んで良かった」と思われるような住み良い町にすることだ。将来の町を支える若者たちのために、子育て環境、教育環境の充実のための具体策は。

**答**

今後の保育所のあり方について、3保育所の部分的な統合も含めた検討を協議していく。教育環境の充実では小中学校のI

**問**

CT環境整備やデジタル教科書の導入、デジタル校務支援システムの導入等で教育の質の向上を図っていく。

町内の商工業や農業の従事者にも労働力不足が生じ、医療介護の分野でも大変な状況になっている。その解決には町外からの労働者の受け入れ態勢の充実が急がれる。住宅整備の具体策は。

**答**

今年3月に定住促進住宅沖住宅を新たに整備し、全体で現在15戸の空きがある。今後の町営住宅の整備計画として、長浜地区に1棟4戸の民間借上げ住宅の整備が進んでいる。明和地区にも新たな町営住宅の整備を検討しており、更なる受け入れ態勢の充実を図っていく。

**問**

町の奨学金制度の更なる充実を

よる人材育成が将来の只見町を支える若者の育成には必要と考える。思い切った制度改革を求める。

**答**

いろいろな課題がある中で実現に向けた検討をしていきたい。新年度は返還のない支度金制度を導入していきたい。

**問**

高齢者が運転免許証を自主返納し、自分で買い物に行けずに、毎日の生活に不便を感じている人が増えている。町内では12月末に閉店してしまうスーパーマーケットがある。具体的な対策は。

**答**

雪んこタクシーの利用料金を2

00円に値下げし、只見駅から会津田島駅間の定期路線ワゴン自然首都只見号の運行を開始した。また、振興センターにコミュニティワゴンを配置した。当面は推移を見守ってきたい。



長浜地区に建設中の民間賃貸借上げ住宅

# 「水の郷」で水産業の振興を

**答** 魚族の産品化を支援したい

**問** エコパーク行動計画で掲げる産品開発について、この5年の取り組みをどう評価しているのか。

**答** 伝承産品の開発に向けて支援し、現在30品。その後の産業化までの取り組みには反省もある。それを踏まえて後半の5年間を取り組んでいく。

**問** エコパーク行動計画で掲げる林業について、以前町内の森林活用が検討されたが課題があり、一旦ゼロに戻した経過がある。その後の取り組みは。

**答** 価格の課題がある。広葉樹の活用は検討しており、木材を中心とした産品づくりを計画に掲げ推進

している。

**問** 県や企業との連携でこの森林活用の課題が解決出来な

いか。

**答** アンテナを高く持って情報収集に努める。

**問** エコパーク行動計画で掲げる内水面の振興について、「水の郷・只見町」で魚族を活用した水産業の振興はしっかり考えるべきだ。海の魚も乱獲などで危惧されている。只見には養魚場等の既存の施設、人材、ダム湖もある。缶詰加工は非常食としても有効だ。条件が整っている。淡水の魚族を活用した産業おこしをやるべきだ。

**答** 水産業は、町としても支援し魚族の産品化を育成したい。言われたことが可能かどうか漁協とも協議する。

## 地元高校の将来を地元で提案

**答** 学校側とも議論し検討したい

**問**

県の高校改革は淡々と進められる。エコパークの町として、例えば、将来地元只見高校から環境人材を輩出する目的を掲げ、地元高校の在り方を一年ぐらいかけて研究してみようか。エコパークの町だから

**答**

できる町独自の高校存続対策を考え県に提案すべきだ。現在只見高校は、地域連携推進校として位置付けられている。只今の課題については、学校側とも議論して検討していきたい。



全国から大勢の先生が集まった只見町海洋教育の公開授業（明和小学校）



議員 仁也 黒目

# 令和2年度の新規事業は

**答** 4点の新規事業を予定



議員 高橋 孝義  
さとう たかよし 佐藤 孝義

**問**

令和2年度の特筆すべき新規事業及び重点事業は。併せて概算予算を示せ。

**答**

実施計画並びに予算編成の途中で詰め切れていないが、次の4点の新規事業の実施を考えている。

1. 全国的に深刻な専門職・技術職員の人員不足を踏まえ、U・Iターンの町職員採用に当たり支度金等の給付金制度の創設。
2. 県営中山間事業の調査計画地区採択の内示を受けたので、事業実施に向け進め



台風19号後の大倉集落での普請

3. 町内の景観形成、集落等共同作業の軽減から重機借上げによる、公共性の高い箇所を選定して除草作業等の試行的実施。
4. 八十里越開通を見据えて、地域風土が類似する三条市下田地区、只見町、南会津町西部地区を有す

る。3市町が連携して、越後から北関東につながる街道の広域観光の確立とPR事業の展開。

## 鳥獣被害への対応策は

**答** 森林保全及び景観整備に取り組む

**問**

森林活用や森林の抑制に繋がる。ユネスコエコパークや新たな森林環境譲与税にも関連する鳥獣被害への対応策は。

**答**

罾や電気柵等の設置もあるが、野生動物の生息する山林域から人間社会への侵入を防ぐことも必要な対策であることから、里山林の整備を行ない、鳥獣被害の抑制と併せて森林保全及び景観整備に取り組む。なお、財源としては今年度から施行の森林環境譲与税の活用も検討する。

**問**

八十里越の開通を目前にした町

の観光政策、交流施設の整備等の考えは。

**答**

湯ら里宿泊室の増設に向け、規模や定員数の調査を行なう委託費等の予算計上を予定している。道の駅整備に向けて、基本計画の策定に今年度着手し、継続して推進する。広域観光推進のため只見川電源流域振興協議会や奥会津五町村活性化協議会と連携し、ツアー商品の造成や地域コーディネーターの育成を進めていく。

# 町職員採用に 只見高校卒を

**答** 枠を設ける考えはない

**問** 人口減少や過疎対策などの議論は議会でも多い。しかし、只見高校の卒業生の進路を見ると地元への就職が極めて少ない。今年の卒業生35名のうち町内への就職は役場1名、会津工場2名の3名だった。ここに焦点を当てた政策が

重要なのに、ほとんど無いと思う。来年、町職員の採用は何名か。

**答** 来年は、3名の町職員を採用予定。

**問** 只見高校から現場への雇用を安定的に確保するため只見高校卒を作ることが私は有効だと考える。



ちから議員 田 藤

年度	進 学			就 職		未定・その他	計
	大学(国公立)	短期大学	専門学校等	公務員	民 間		
30	10(4)	1	14	1	9	0	35
29	10(1)	3	18	1	8	0	40
28	13(4)	1	17	3	7	0	41

只見高校卒業生の進路状況

## 台風19号の被害調査は全部か

**答** 全てで現地確認を実施

**問** 災害を受けた次の3か所をどう復旧されるか具体策は。①塩ノ岐の辰目沢 トンバックで応急工事をしていたが再度、被災した。

**答** 地域防災計画により、災害対策本部で得た情報と各集落区長を通じて報告いただいた情報を集計し対応している。被害調査については、集計した全てで現地確認を実施している。

**問** 台風19号の災害被害調査はどのような方法で調査されたか。

**答** 夏休み期間中に町内の事業所を見学する就職相談会を開いている。幅広い業種に興味を持ってもらうため介護事業所や建設業を加えて実施した。

**問** ②当該地は民地。総体的にみて協議が必要なので調査する。③只見川河川整備計画の中で対策を検討する。

**答** ①集落と対応策を協議中。  
②只見川 目黒邦一宅裏山 土砂崩れで住宅のすぐ近くまで土砂が来ている。  
③只見沖下水路の溢れ新町からの逆流がなくても29世帯が避難。大雨の度に避難している。住民は大型の排水ポンプを要望している。

**問** 町内の民間企業の中には地元で就職してもらう努力されている企業もある。町は、そうした企業を積極的に支援すべきと考える。

# ダム土砂、 海洋学的な解決を

**答** 地方から国へ訴えていく



議員 黒道 ちろみ ぐろめ

**問**

ダム堆砂土砂対策はダムが立地する自治体だけが負うべきものとした法律や取り決めはあるか。また流域町村との協議はなされていたか。

**答**

取り決めや法律はないものとして理解している。滝ダムについては金山町と協議している。

**問**

やがて町が堆砂土砂で埋れてしまうのではないか。

**答**

伊南川からの流入がほとんどであるため、河川管理者である福島県に要望し



真奈川地区の堆砂土砂置き場

**問**

現在の処理方法は海洋学的に見て合理的な方法なのか。

**答**

山地から海岸まで土砂が移動することが本来の流れであると考える。土砂の陸揚げが合理的な方法とは考えていない。

**問**

小中学生は海洋学を学んでいく。水の流れやゴミに

ていく。

現在の処理方法は海洋学的に見て合理的な方法なのか。

山地から海岸まで土砂が移動することが本来の流れであると考える。土砂の陸揚げが合理的な方法とは考えていない。

小中学生は海洋学を学んでいく。水の流れやゴミに

ついては学んでいるが土砂についても学んでいるか。

土砂については学んでいない。

あえて逆の質問をする。堆砂土砂は課題が大きすぎるため教えなくていい。彼らが大人になってから解決すればいいのではないか。

そうは考えない。将来では手遅れ

あえて逆の質問をする。堆砂土砂は課題が大きすぎるため教えなくていい。彼らが大人になってから解決すればいいのではないか。

そうは考えない。将来では手遅れ

あえて逆の質問をする。堆砂土砂は課題が大きすぎるため教えなくていい。彼らが大人になってから解決すればいいのではないか。

そうは考えない。将来では手遅れ

あえて逆の質問をする。堆砂土砂は課題が大きすぎるため教えなくていい。彼らが大人になってから解決すればいいのではないか。

そうは考えない。将来では手遅れ

ダム発電協の総会でも堆砂土砂問題をアピールしてきた。子供のうちから知ってほしい。

町長、その通りだ。ユネスコエコパークの町として阿

おしらせばんは SNSの活用を

賀野川水系の流域自治体に働きかけてはどうか。

阿賀野川水系だけでなくダムを抱える全ての河川の問題。県や国に対して地方から訴えていきたい。

ブックを活用している。中学生の読者モニターを提案したい。中学生が読むことで世帯全体が目を通す効果があるのではないか。

特にモニターが必要とは考えていないが、今後検討していきたい。

今後検討したい

# 豪雨時の水害対策の実施を

**答** 有効な対策を管理者に働きかける

**問** 新潟福島豪雨災害、10月の台風19号による水害で多大な被害を町は受けている。大水害から町民の命と財産を守るために、河川法52条を活用し、田子倉ダムの事前放流により水位を下げ、貯水量を増やして下流の洪水発生を防ぐ必要がある。このために河川管理者や電源開発株式

会社に事前放流の実施を要請する必要がある。

**答** 水害対策協議会等様々な機会に、より有効な対策の実施について河川管理者やダム管理者に働きかける。

**問** 台風19号による田子倉ダムの水位変化は。

**答** 3.72m上昇。

**問** ダムの洪水時最高水位は512mで電発は3m下げた対応となっているが、黒谷川225ミリ、只見原178ミリ、檜枝岐240ミリの降雨量で水位が3.7m上がっている。異常気象で今回の3倍雨量であれば10m以上のダム水位上昇になるのでないか。岡山県の河川では、中部電力が治水協力を発表し、天気予報で39時間先までの積算雨量が110ミリを超えると予想された場合、事前放流し水位を下げていく。町民の命と財産を守るための対応を。

**答** 下流域と県、電発とも協議していく。



山岸 国夫 議員



ダムの水位調整を

## 高齢者のむら湯入湯料軽減策を

**答** 内部で議論する

**問** 高齢者の健康管理・福祉対策として、むら湯に限定した高齢者用入湯券を現在の町民入湯券を減額して発行をすることを求める。

**答** 高齢者の健康管理や福祉対策の一環として、町内老人クラブの育成事業を実施しており、単位老人クラブあたり年2回の入浴補助を実施している。

**問** 介護認定外の65歳以上の人数は約1500人、老人会未加入の集落は10以上ある。現在の町の制度では、多くの方が当初から利用できない状況にあり、公平性が担保されてない。南会津町は、年4回を上限とした高齢者用無料入湯券を発行している。

**答** 内部で議論していく。

# 診療所は機能不全に陥るがいか

**答** 医療職員確保に努める



さか い ゆう いち  
**酒井右一議員**

**問**

議会が「朝日診療所のあるべき姿」を提唱してから丸一年が経つ。しかし、

看護職員は未だ不足し、診療所の入院制限は解除されない。この間、地域住民の不安と不便・安らぎの場所を失った喪失感は計り知れない。診療所の入院制限が解除される時期はいつか。

**答**

今年11月、看護師1人診療所に来て頂いたことにより事態は改善した。

しかし、まだ十分ではない。新年度新採用

予定者が1人ある。できるだけ早期に19床全て稼働できるよう努める。

**問**

19床にこだわることにはあまり重要ではないのではないかと。数字にこだわらずとも現場の医療スタッフの勤務体系など工夫次第では1月から従来の通りの診療所運営ができるのではないかと。

**答**

医療スタッフの十分な訓練や勤務体系の工夫を行ない、1月からそのようなようになるよう努力する。

**問**

4月から「働き方改革関連法」が施行される。これにより、診療所職員の不安定かつ不均衡な職員任用を改善できるのではないかと。

また、新年度からの職員の身分や待遇について、どのように改善されるのか。

**答**

地方自治法や地方公務員法が一部変わり「会計年度任用職員制度」新設される。現在の臨時職員制度の不安定な運用は避けられると考える。

**問**

「会計年度任用職員制度」には細かい区分がある。また、期末手当はあるものの勤勉手当はない。この不均衡はどうされるか。

**答**

勤務実態に併せ、制度を運用していきたい。まだ町の関係規定を整備していない。今後、新年度までに整備していく。勤勉手当は「会計年度任用職員制度」にない。理由は把握していない。



医療の要、朝日診療所

# 第七次振興計画の 前期評価検証は

## 答 専門部会及びアンケートを実施

**問** 第七次振興計画の前期終了を迎え、「評価」と「検証」の実施方法と状況はどうなっているか。

**答** 実施方法は専門部会評価検証会議を開催すると共に、町民アンケートを実施し、報告書を提出した。

**問** それぞれの検証結果を受け、施策の見直しや改善は次年度の政策に反映できるのか。

**答** 評価検証結果を踏まえ、担当部門にて早急に検討し、次年度の予算措置を考える。

**問** 人口減少対策における検証結果と、今後の対策は。

**答** 様々な対策を実施しているが、効果が上がっていない。

**問** 今回の検証結果を踏まえ、新たな対策を考えて行きたい。

**答** 町独自の未婚化・晩婚化対策が必要なのではないか。

**問** この事業は今までいろいろな形で実施してきたが、成果が上がらない実情だ。どのような手法があるか庁内で検討しながら進めたい。



議員 好行 鈴木 好行

## 伝承産業の担い手育成と支援策を

### 答 各団体と連携しながら検討する



只見を代表する民芸品

**問** つる細工やマタタビ細工などの担い手を育成し、支援することで地域経済の発展と、交流人口の拡大を図ってはいかがか。

**答** 担い手育成の支援は、各団体と連携しながら検討する。また、つる細工は販売方法の確立が重要になるため、販売先の確保や情報発信について検討する。

**問** 山菜やキノコ等で収入を得ている人が減少している。

**問** 「道の駅」開設に向けて原材料の確保はどうするのか。

**答** 出荷制限の早期解除に取り組み、出荷できる環境づくりに努める。

**問** つる細工等、材料の確保が困難になっている。荒廃地を利用して原材料の栽培に取り組んではいかがか。

**答** 各種材料の調達状況を調査し、栽培等による調達の可能性を検討する。

# 道の駅基本計画の完成はいつ

**答** 年度内の完成は厳しい



鈴木 征 議員

**問** 道の駅基本計画について、これまでの検討経過と早期実現に向けた取り組み状況は。

**答** 基本計画は、町にとってどのような道の駅が良いのか、道の駅にどのような機能を持たせるのかなどを具体的に定めるものであり、町民の方や専門家を含めた道の駅検討会を立上げ、加工品調査や飲食店・宿泊事業者の実態調査を踏まえ、策定作業を進める予定だ。さらに、基本計画の策定には専門的

な知識とノウハウを有する支援事業者が不可欠なため、現在事業者の選定に向けた協議を行なっている。

**問** 運営母体について、第三セクターあるいは民営に委託するのか。それとも直営か。

**答** 具体的に現状では決まってははいない。観光組織等の在り方検討会の中で検討していくので、これから具体的な運営主体の検討に入っていく。

**問** 地域おこし協力隊が1名決まったことは大変良かった。今後の研修はどのように進めるのか。

**答** 道の駅の基本計画の策定や運営主体の検討を進めるにあたり必要と思われる研修、セミナー等に参加する。先進的な道の駅への実務研修も検討

している。

**問** 産品開発の取り組み状況は。

**答** 農林建設課等の関係課と連携しながら取り組んでいく必要がある。

**問** 基本計画は着手したのか。まだ取り組んでいないのか。

**答** 今、プロポーザルを行なう準備をしている。年内には公募を行ない、年明けに事業者の選定に入っていきたい。

**問** 来年の3月までは完成するのか。

**答** 年度内の基本計画の完成は厳しいと感じている。なるべく早期に完成に向けた発注等を行ないたい。

**問** どれくらい遅れているのか。

**答** 当初計画より一年近く遅れている。



物産品が並ぶ只見町観光まちづくり協会



ブナりん

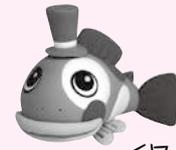
# 教えて! 議会のこと

Vol.22



アカショウちゃん

## 『議員定数と議員報酬』 ってなあに?



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



**ブナりん** 議員定数って何のこと?

**議長** 議会には、それぞれの議会ごとに議員の人数を定めているんだ。

その人数を定数と言うんだよ。



**アカショウちゃん** 只見町議会の議員定数は何人なの?

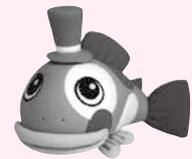
**議長** 12人だよ。定数自体、議会で増減できるんだけど、只見町では、町の面積が広いこと、産業振興など課題が多いこと、などの理由から現状の12名でいく予定なんだ。

**イワッペ** 只見町の議員報酬はいくらなの?

**議長** 議長が270,900円、副議長が209,700円、常任委員長が196,200円、議員が189,900円と条例で月額が決まっているんだ。

議員定数と同じで、高い安いの議論があるんだよ。

**ブナりん** 只見町では、どんな議論があるの?



**議長** 定数を減らして報酬を上げる案、定数を増やして報酬を下げる案などいろいろ議論されているんだ。

**アカショウちゃん** 南会津郡内ではどうなの?

**議長** 郡内では、1番安いんだ。このことは、議員のなり手不足の一因にもなっているんだ。

**ブナりん** そうなんだ!?

【参考】「郡内町村の議員報酬月額」

	議長	副議長	議員
只見町	270,900円	209,700円	189,900円
南会津町	324,000円	253,000円	230,000円
下郷町	302,000円	233,000円	211,000円
檜枝岐村	291,000円	225,000円	203,000円



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



シリーズ

# 若者たちの目線 vol.22

只見町って  
なじよだよ?



只見小学校

6年 目黒 翔太

ぼくたちは、総合的な学習で将来の只見町について考えています。ぼくは農家民泊を充実していくべきだと



只見中学校

1年 酒井 駿

僕が考える只見町の自慢は、地域住民が協力しているところだと思います。これからの只見町

## 只見町の自慢

について考え、よりよい町を目指して協力しています。例えば、町のゴミ拾いです。只見町の豊かな自然を守るために、全員で協力してゴミ拾いをしていきます。周りを見れば、ゴミは全く見えません。このような身近なことに一生懸命に取り組むところは、とてもいいところだと思います。

## 只見町をよりよくしていくために

思います。その理由は、雪祭りなど只見町には多くの観光客が訪れているのに対し、宿泊場所が足りず、町外に観光客を逃がしてしまっているという話を聞いたからです。具体的には、農家民泊のホームページをつくり、多くの人に周知すること、そして登山などのツアーを組み込んだり、英語の表記を付けたりするなど、外国の方も含め幅広い人に楽しんでもらえるようにしてはどうでしょう。今あるものを活用し、只見町をよりよい町にしていきたいです。

## 編集後記

少子過疎高齢化に歯止めがかからない只見町の現状を、何とかしなければの思いで一生涯懸命頑張ってきたつもりですが、なかなか思い通りに結果が出せず歯がゆい思いです。今後、令和5年に予定されている国道289号八十里越道路の開通を見据えた受入れ態勢の整備が現在の只見町では最重要課題と捉え、町当局と一緒に取り組んでいきたいと思っています。そんな中での情報開示の使命が「議会だより」に託されていると感じます。(大塚純一郎委員)

### 発行責任者

議長 齋藤 邦夫

### 広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 藤田 力

委員 大塚純一郎

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222 E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp